

**グリーン物流パートナーシップ会議「商務・サービス審議官表彰」を共同受賞
～異業種3メーカーの共同連携輸送による労働環境改善・環境負荷低減を実現～**

モンデリーズ・ジャパン株式会社(本社:東京都品川区 / 代表取締役社長:ガネッシュ・カシャップ、以下モンデリーズ・ジャパン)は、ライオン株式会社(代表取締役社長:掬川正純、以下ライオン)、株式会社 J-オイルミルズ(代表取締役 社長執行役員・八馬史尚、以下J-オイルミルズ)、鈴与株式会社(代表取締役社長:鈴木健一郎、以下鈴与)とともに、このたび、「令和2年度グリーン物流パートナーシップ会議 優良事業者表彰^{※1}」において経済産業省「商務・サービス審議官表彰」を受賞いたしました。

(参考)経済産業省「令和2年グリーン物流パートナーシップ会議」ホームページ

<https://www.greenpartnership.jp/>

■受賞内容と受賞理由

地球温暖化や環境負荷低減のために、物流分野におけるCO₂排出量削減の取組みとして、ハード面の輸送機器・物流施設の改良や、ソフト面の輸送ルートの見直し・効率化に加えて、荷主と運送事業者間が連携することによる物流の全体プロセスでの効率化が必要となっています。また、運送業界ではEC事業の拡大等により物流需要が伸長する一方、ドライバー不足が続いており、多様な人材の活用と、そのための働きやすい労働環境の実現が急務です。

本取り組みは、ライオン、モンデリーズ・ジャパン、J-オイルミルズの異業種メーカー3社の貨物を、鈴与の高積載型スワップボディ車^{※2}を活用して、関東～中京の中間地点に位置する拠点で中継輸送^{※3}を行うことで、輸送車両台数の削減や実車率の向上、作業時間および待機時間の削減を図り、環境負荷の低減に加え、ドライバーの労働環境改善を同時に実現しました。

今回の受賞は、メーカー3社と運送事業者が連携し、入出荷における日程や時間の調整などを通じ共同連携輸送を行うことで、環境負荷軽減と物流生産性の向上に貢献をしたことが評価されたものです。

^{※1}経済産業省・国土交通省が、物流分野における環境負荷低減、物流の生産性向上等持続可能な物流体系の構築に関し、特に顕著な功績があった取り組みに対して表彰するもの

^{※2}大型車よりも車内高が高く、荷台部分が着脱可能な車両

^{※3}長距離・長時間の運行において、中継地点で運転者を変更し輸送する形態

■ 成果及び今後の展望

荷主3社の運行を連携させることにより、以下の効果が見込まれます。

- ① 車両台数の削減:3台/日⇒2台/日
- ② 運行効率の向上:実車率96.5%
- ③ 環境負荷の低減:CO₂排出量を137.3t/年(約43%)削減

また、本輸送には荷台を切り離すことができる高積載型スワップボディ車両を使用することで、以下の効果も見込まれます。

- ① 労働時間の短縮: 荷台を積込場所に切り離すことにより作業時間及び待機時間の削減
- ② 労働環境の改善: 2台の中継輸送により1泊2日運行を日帰り運行に改善
- ③ 車輛手配業務の削減: 定期定時運行により車両手配・トレース業務の削減

■今後の展開

モンデリーズ・インターナショナルでは、グローバル共通のミッションとして「Snacking Made Right」を掲げ、「適正な方法で、適切なタイミングで、適切なお菓子を創り、届けることで世界におけるお菓子の未来をリードすること」を目指しています。このミッションに基づき、消費者の皆様に対してだけでなく、社会にも、地球環境にも最適な方法で製品を製造してお届けするため、CO₂排出量の低減や労働環境改善に継続的に取り組んでいます。モンデリーズ・ジャパンは、その日本法人として、日本での環境負荷低減及び労働環境改善のために今後とも貢献していきたいと考えています。

図1. 実施前フロー

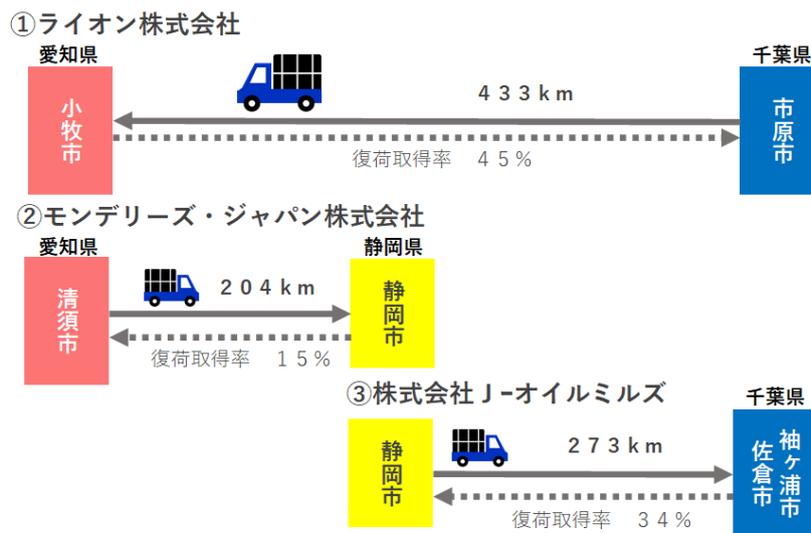
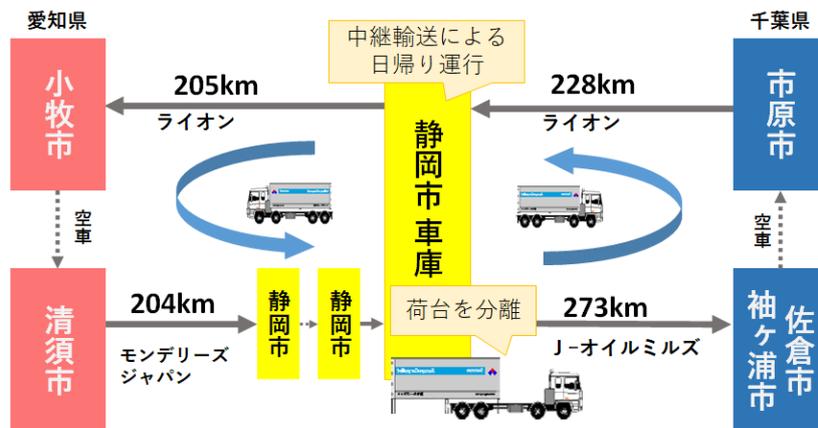


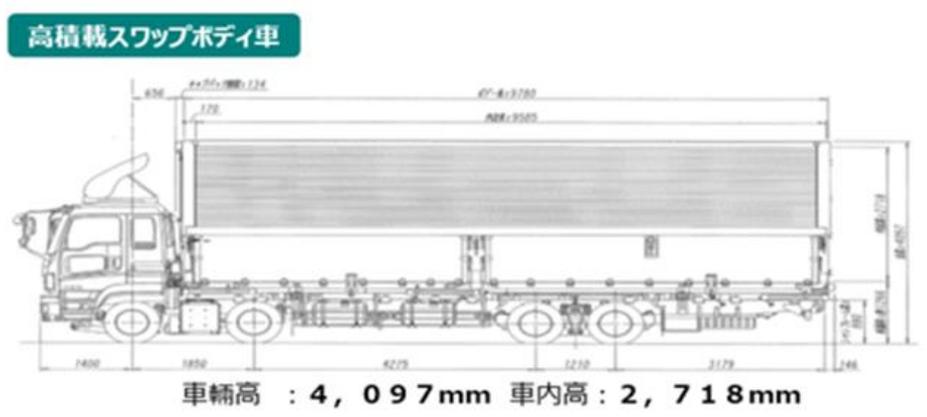
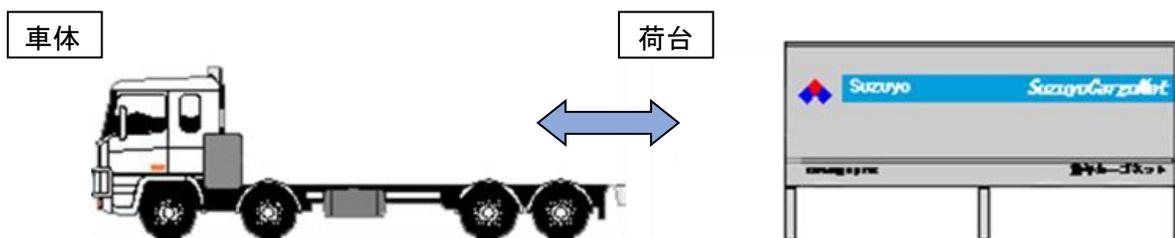
図2. 共同連携輸送実施後のフロー



※実線は実車、点線は空車

※モンデリーズ・ジャパンでは、国内で発売するすべてのガム製品を、グループ会社である名糖アダムス株式会社清須工場で製造

図3. 使用車両(高積載型スワップボディ車)



大型車よりも車内高が高い「背高型荷台」を使用

以上